

心もバリアフリーに！  
誰もが楽しめるアダプテッド・スポーツ

天理大学

春名誠 重岡健悟 堀川明良 舛岡涼帆 山内太陽

奈良教育大学 長友志航(アドバイザー)

天理大学

# 奈良県の課題

(1) 健常者が障がい者や  
高齢者の立場になって  
考えるのは難しい

(2) 車いすの障がい者や高齢者  
が出かけるのは難しい！  
誰かの手助けが必要

課題

(3) 障がい者は生きがいを求め  
て生活できている人が少ない

(4) 奈良県では健康スポーツが  
普及していない  
→ 都道府県比較でも健康寿命が  
短い

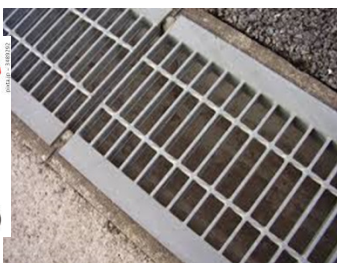
# 現状は？

## 奈良県におけるバリアフリー事情

バリアフリー新法は導入されたけど…。バリアフリー化にはお金が掛かる！



危ない



- ・奈良県は外出する、障がい者や高齢者に優しくない「まち」というのが現状。
- ・一歩外に出るとなっても、少しの段差で困ったりする人々がいる。

・ 自由に出かけられない

・ インドアな生活

・ 誰かの手助けがあれば出かけられる

・ 1人ひとりの『心のバリアフリー』が **重要！**

# ◎アダプテッド・スポーツとは

ルールを工夫することで、障がい者、高齢者、子ども、健常者、  
誰もが一緒に楽しめる身近なスポーツ

- AAASPの取組み

(American Association of Adapted Sports Programs)



AAASP Facebookページより

- 日本での取組み

現在、日本では、バスケットボール、陸上  
ラグビー、サッカーなどのアダプテッド・スポーツ  
が導入されている。



天理大学 アダプテッド・  
スポーツフェス  
2015. 6. 14

# ◎私たちが考える アダプテッド・スポーツの魅力

- ①ルールを工夫することで、障がい者や高齢者、健常者が一緒にプレーできる！
- ②障がい者や高齢者に生きがい生まれる！
- ③色々な人と交流できる！
- ④障がい者や高齢者への理解が深まる！
- ⑤社会関係資本（ソーシャルキャピタル）の醸成をうながし、「共生社会」へつながる！

# 期待される効果

## コミュニケーション

- 障がい者や高齢者への理解が深まることで、コミュニケーションができるようになる。

## 健康づくり

- 障がいや体力低下等の理由でスポーツをしてこなかった・できなくなった人にスポーツ参加を促し、生きがいを持ってもらうことで、健康づくりをすすめる。

## 心のバリアフリー都市 奈良

- 奈良県民だけでなく、奈良を訪れる障がい者や高齢者の方々が人のつながりによって、過ごしやすい環境整備をして、世界に「心のバリアフリー都市 奈良」をアピールできる。

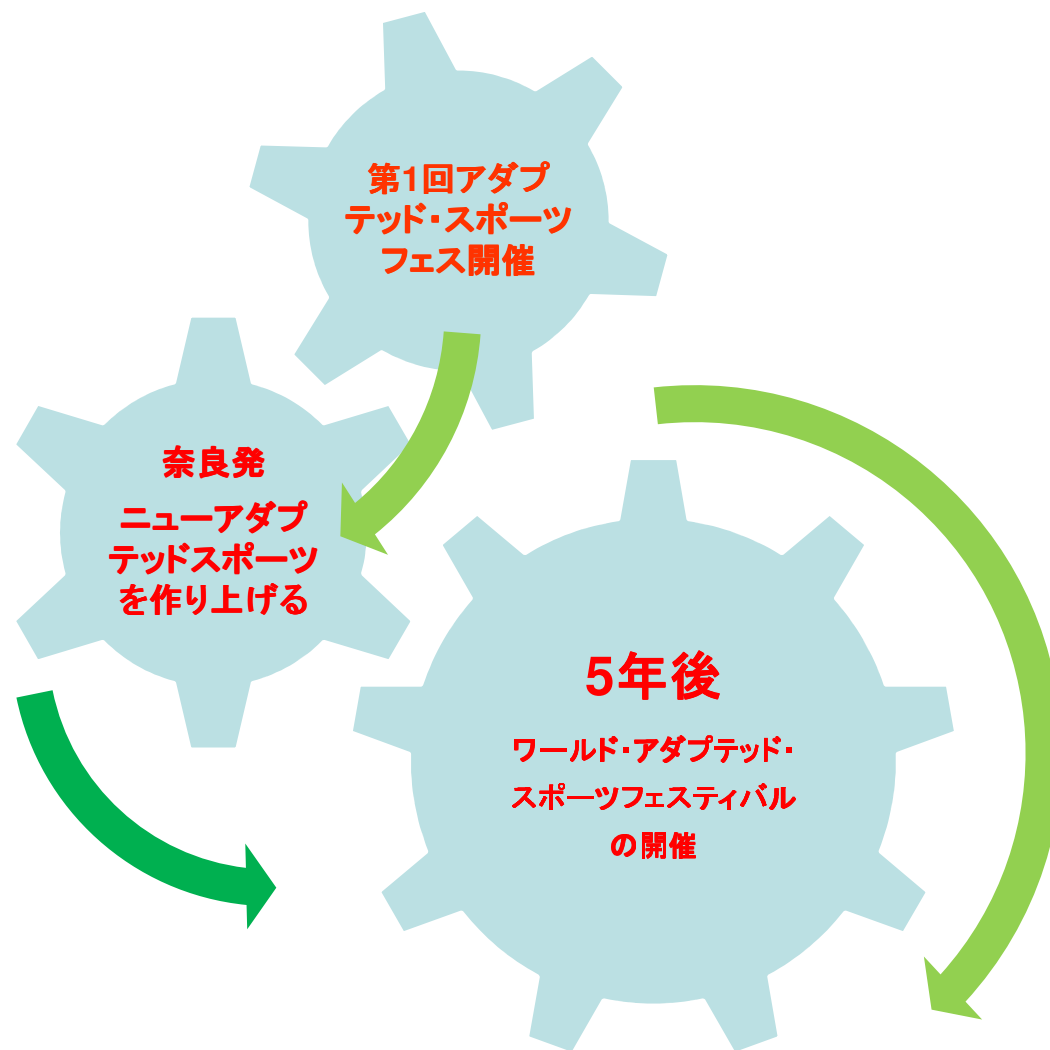
## 助け合い・支え合い

- 災害時などに、障がい者や高齢者に対して支援できる体制づくりができて、助け合い・支え合いに役立つ。

# 2017年度のスケジュール

実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
協力者の募集・調査	←→							
体験会の開催		←→						
フェスの企画策定			←→					
フェスの企画準備			←→					
広報期間				←→				
第1回フェス開催							◎	

# 将来ビジョン





**アダプテッド・スポーツで  
奈良を先進的な「共生社会」実現のまちに！**

# ご静聴ありがとうございました

